

第 3 学年課題研究 <文型> 第 4 回

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

3 年 1 組 (国際)、2 組 (人文)、視聴覚室 (社会科学)、3 組 (複合領域) 教室

担当：国際 (2 組正・副担任) 人文 (3 組正・副担任) 社会科学 (4 組正・副担任)

複合領域 (1 組正・副担任)

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献・資料

3. 教員の準備するもの

タブレット、(課題研究メソッド)

4. 授業展開例

| | 時間 | 学習内容 | 教員の指導・留意点 |
|----|------------|---|--|
| 導入 | 15:20 ～ | <p>～前回の続き～</p> <p>○『研究計画書の作成』をする。</p> <p>完成している班は、タブレットを使用し、更に「研究計画書」を深める。まだの班はタブレットを使用したりしてこの時間で完成させる。</p> <p>『課題研究メソッド』P.90～参考 課題研究ノート P24～P25 1 時間で完成するよう、取り組む。</p> <p>○研究計画を立てながらアンケート調査 (P16,17)、インタビュー調査(P18)、参与観察[関心を抱いた組織やグループにその一員として参加 (参与) しながらデータを収集する手法](P19)、実験の準備(P20,21)など、どの手法で研究していくのか話し合うことを伝える。なお、文献調査だけで課題研究を進めていくグループがあってもよい。</p> | <p>○班になる。</p> <p>○『仮説の設定と検証』がまだのグループはそこから (『研究計画書の作成』を視野に入れながら取り組ませるとよい。)</p> |
| | 16:07 ～ | <p>○次回の予告</p> <p>次回は 5 月 24 日(木)6 限</p> <p>主な活動内容</p> <p>・研究計画書の見直し・研究開始を予告する。</p> <p>○必要な資料を準備してくること。</p> | <p>○半年間かけて行う研究について、十分な計画を行う。</p> <p>○研究計画書は授業後に回収し、担任・副担任でチェックすることを伝える(チェック項目について P23)。また、不十分なものは書き直しをすることになることを伝える。</p> |
| | | | ○先生方のチェックページは、課題研究ノート P23。 |

| | | | |
|--|-----|--|---|
| | 回収後 | | ○担任・副担任で手分けをして P23 で研究計画書をチェックする[5月24日までに]。不十分な生徒には5月24日の課題研究授業時に返却し、修正させる。研究計画書がそのまま良いグループは5月24日から研究を開始する。 |
|--|-----|--|---|

基本的には、前回と同じです。タブレットを使用し、深めさせてください。